



ユネスコ世界文化遺産 講演会

2023年11月2日（木）

- 18:00 開場 18:30 開会 20:20 閉会
- 会場：室蘭プリンスホテル 鳳凰の間
- 参加無料 定員 150名（要事前申込み）

詳しくは裏面をご覧ください。

広域にまたがる世界文化遺産と住民 ～「ローマ帝国の国境線」の例～



**講演 ■ 長く困難な、しかし成功した旅路
— 国境を越えた複数資産から成るユネスコ世界遺産「ローマ帝国の国境線」**

講師 オーストリア連邦政府記念物局デジタル化・知識普及部次長
ルネ・プロイヤー博士



- 北海道世界文化遺産総合活用推進事業のうち「青少年交流事業」
- **主催** 北海道世界文化遺産活用推進実行委員会
- **協力** 室蘭ユネスコ協会
- **後援** 北海道胆振総合振興局・北海道教育庁胆振教育局・室蘭市教育委員会

ユネスコ世界文化遺産講演会

広域にまたがる世界文化遺産と住民

今年11月、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の価値の伝達のあり方をテーマに札幌市で国際会議が開催され、この会議に招かれた海外の専門家が道内の構成資産を視察することになりました。この視察旅行のため室蘭市に滞在する専門家を講師に迎え、世界遺産に関するユネスコの取組の目的や意義、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の内容とその顕著な普遍的価値についての理解を深めるための講演会を開催します。

第1部

講演 ■ 長く困難な、しかし成功した旅路

一 国境を越えた複数資産から成るユネスコ世界遺産「ローマ帝国の国境線」

講師 ■ ルネ・プロイヤール オーストリア連邦政府記念物局デジタル化・知識普及部次長

ウィーン大学・プラハ大学で古典考古学・古代史などを学んだのち、シリア・パレスチナでの古代遺跡調査に従事。2004年からオーストリア連邦政府記念物局に勤務し2022年から現職。オーストリア首相府「ユネスコ世界遺産ドナウ沿岸のローマ長城」事務局作業部会と連邦世界遺産管理学術諮問会議のメンバーを務める。

ローマ帝国辺境部の歴史について多くの著作があり、世界遺産「ローマ帝国の国境線—ドナウ沿岸西部のローマ長城」推薦書の作成に参加。また、ウィーン及びザルツブルグ大学の考古学科で教鞭をとる。

【講師から参加者の皆様へ】 縄文遺跡群と同じ2021年、「ドナウ沿岸西部のローマ長城」を含む二つの遺跡群が世界遺産となり、かつてのローマ帝国の国境に展開する遺跡群は現在5件の世界遺産に分かれて登録されています。

この講演では「ローマ帝国の国境線」登録の長い歴史を概説し、ヨーロッパの10か国にまたがる遺跡群をめぐって展開されたさまざまな取組と、長期にわたる協力についてご紹介します。重要なポイントは、この文化財に対する理解共有の作業であり、そこでは博物館だけでなく、特に地域の住民が重要な役割を果たしています。

第2部

ディスカッション ■ 世界遺産の価値の保全と伝達のために—住民の果たす役割

世界遺産となった遺跡群の価値を来訪者をはじめとした関係者に適切に解説し、その価値を将来に継承していくうえで、地域の住民が果たす役割とはどのようなものか。第1部の講演内容を踏まえ、国際会議に参加する専門家が意見を交換します。

コーディネーター ■ 大津和子 北海道世界文化遺産活用推進実行委員会副委員長・北海道ユネスコ連絡協議会会長

パネリスト ■ ルネ・プロイヤール

■ シャーロット・ハート アメリカ合衆国内務省国立公園局南部アリゾナ事務所

■ ブレット・J・ルビー アメリカ合衆国内務省国立公園局ホープウェル国立公園

■ 岡田真弓 北海道大学国際広報メディア・観光学院准教授

■ 田代亜紀子 北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授

- 海外専門家の発言は英語で行われ、日本語への通訳を挟みます。
- 講演会への参加は無料、定員は150名です。道内在住で事前に氏名・連絡先等を添えて申込んだ方が参加できます。
- 主催者の組織・活動内容等については、右のQRコードから実行委員会サイトをご覧ください。



講演会への参加は事前申し込みが必要です。左のQRコードからお申し込みください。

■ ご不明の点はお気軽に実行委員会事務局までお問合せください。

〒060-8544 札幌市中央区北3条西7丁目 北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課内

電話：011-231-4111 内線 35-626 担当：西脇（にしわき） Email: vgjomonhokkaido@gmail.com